

～小中高生の勉強に関する意識調査 2015～
小中高生の効果的な息抜き方法は、
「コミュニケーション」より「食欲・睡眠欲の解消」や「娯楽」
中学生の半数、小学生の7割は「紙教材」より「デジタル教材」
親は勉強の先生として100点満点中「71」点
小中高生が勉強を教えてほしい芸能人トップ3は、
「櫻井翔(嵐)」さん、「北川景子」さん、「小島よしお」さん

クラウド型学習システム「すらら」を展開する株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)では、「小中高生の勉強に関する意識調査 2015」を小学4年生から高校3年生までの男女に実施しました。

- 1) 小中高生が勉強に一番集中できるのは、
「親」より「塾・家庭教師の先生」・「友達」と一緒の時
場所は「自分の部屋」・「学習塾」・「リビング」
- 2) 小中高生にとって効果的な息抜き方法は、
「誰かとのコミュニケーション」よりも「食欲・睡眠欲の解消」や「娯楽」
- 3) 小中高生が勉強で使用するもの1位、
中学生は「書籍(参考書・教科書)」、小学生は「パソコン」
- 4) 「紙教材」より「デジタル教材」のほうが勉強しやすい、中学生の半数、小学生は7割
- 5) 親に勉強を教えてもらうことが「ある」、小学生は8割強、中学生も半数以上
- 6) 小中高生が評価！親は勉強の先生として100点満点中「71」点
- 7) 勉強に関して親に最も望むコト、「口出ししないで」
- 8) 勉強を教えてほしい芸能人トップ3は「櫻井翔(嵐)」、「北川景子」、「小島よしお」

1) 小中高生が勉強に一番集中できるのは、「親」より「塾・家庭教師の先生」・「友達」と一緒の時
場所は「自分の部屋」・「学習塾」・「リビング」

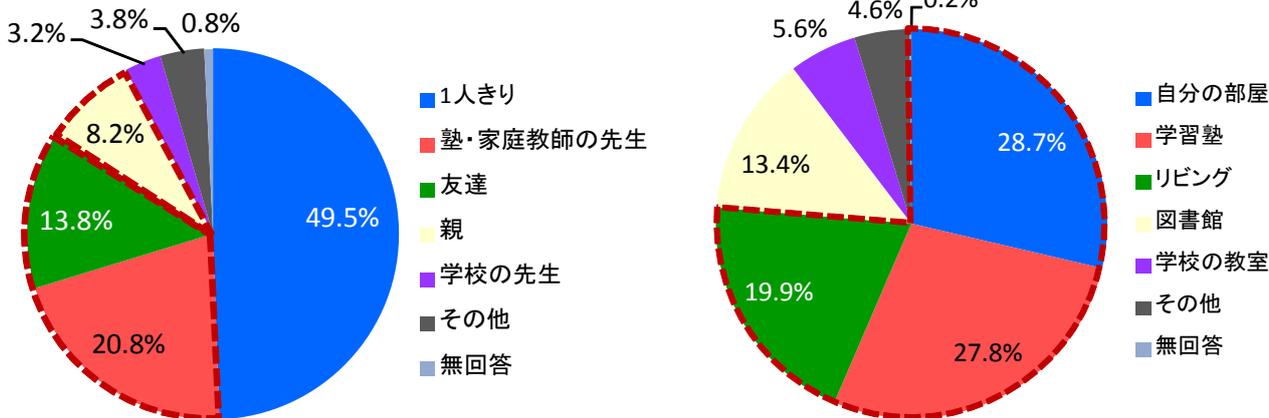
小中高生を対象に、授業以外で勉強する時に、あなたが一番集中しやすいのは誰と一緒に勉強する時か聞いたところ、最も高かったのは「1人きり」(49.5%)でしたが、次いで「塾・家庭教師の先生」(20.8%)、「友達」(13.8%)という結果となりました。家族である「親」(8.2%)よりも、「塾・家庭教師の先生」や「友達」と一緒に勉強するほうが集中できるようです。

次に、一番集中できる場所についても質問したところ、1位は「自分の部屋」(28.7%)、2位は「学習塾」(27.8%)、3位は「リビング」(19.9%)となり、先の質問に対する回答通りの結果となっています。リビングなど親の目が届く場所で勉強する子どもは成績が良いといったことが話題となりましたが、今回の結果において子どもたちの感覚としては、親の目より1人きりや塾・家庭教師の先生、友達の目が届く場所のほうが集中できるということです。

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「すららネット調べ」とご明記下さい。

■結果:「学校の授業以外で勉強する時に、あなたが一番集中しやすいのは誰と一緒にいる時ですか?」の回答 (単一回答)

結果:「学校の授業以外で勉強する時に、あなたが一番集中しやすいのはどこですか?」の回答 (単一回答)

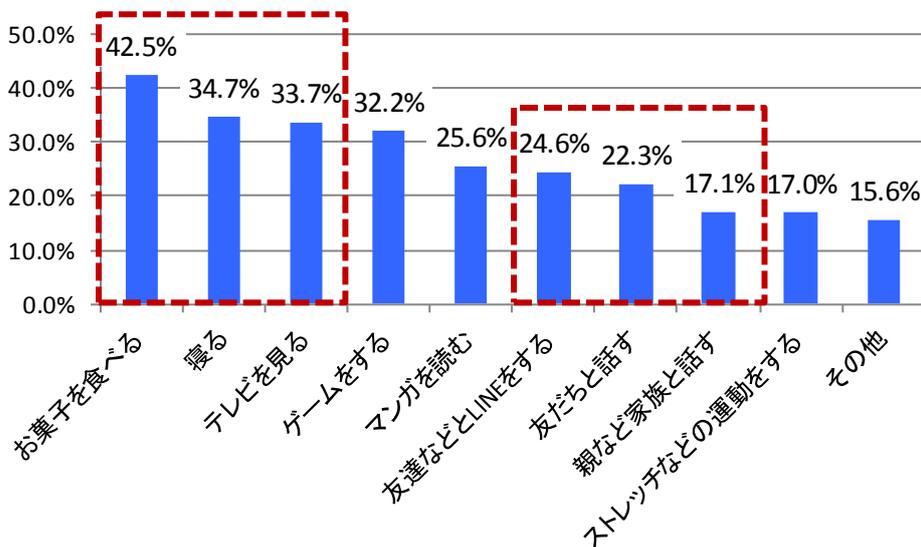


2) 小中高生にとって効果的な息抜き方法は、「誰かとのコミュニケーション」よりも「食欲・睡眠欲の解消」や「娯楽」

勉強の合間にすると、勉強を再開した際に集中できる息抜き方法はどれかを聞いたところ、「お菓子を食べる」(42.5%)が最も多く、次いで「寝る」(34.7%)、「テレビを見る」(33.7%)という結果となりました。

「友達との LINE」や「友達や家族との会話」といった誰かとコミュニケーションを取ることよりも、食欲や睡眠欲を解消することや、テレビを見るといった娯楽が上位になっています。

■結果:「勉強の合間にすると、勉強を再開した際に集中できる息抜き方法はどれですか? 次のうちから、あてはまるものをすべて選んでください。」の回答 (複数回答)



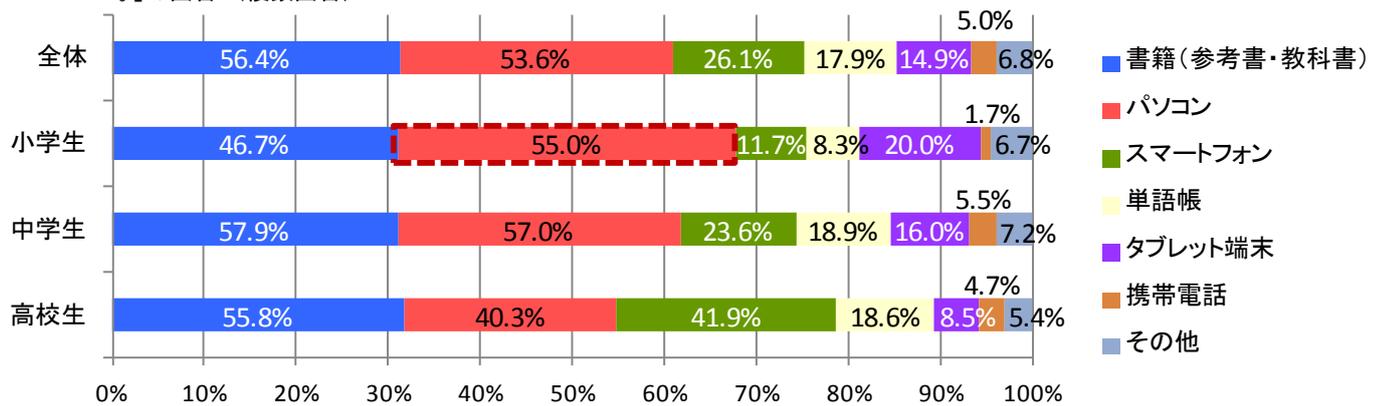
3) 小中高生が勉強で使用するもの 1 位、中高生は「書籍(参考書・教科書)」、小学生は「パソコン」

授業以外で勉強する時よく使用するものでは、「書籍(参考書・教科書)」(56.4%)が最も多く、次いで、「パソコン」(53.6%)、「スマートフォン」(26.1%)という結果となりました。

学校種別で 1 位を見てみると、中高生は「書籍(参考書・教科書)」であるのに対し、小学生は「パソコン」(55.0%)となっています。また、トップ 3 に中高生は「スマートフォン」が入っていますが、小学生は「スマートフォン」ではなく「タブレット端末」が入っています。

勉強における IT の活用は、デジタルネイティブ世代の中でも年齢によって違いが表れていることがわかりました。

■結果:「学校の授業以外で勉強する時、よく使用するものは何ですか? 次のうちから、あてはまるものをすべて選んでください。」の回答 (複数回答)

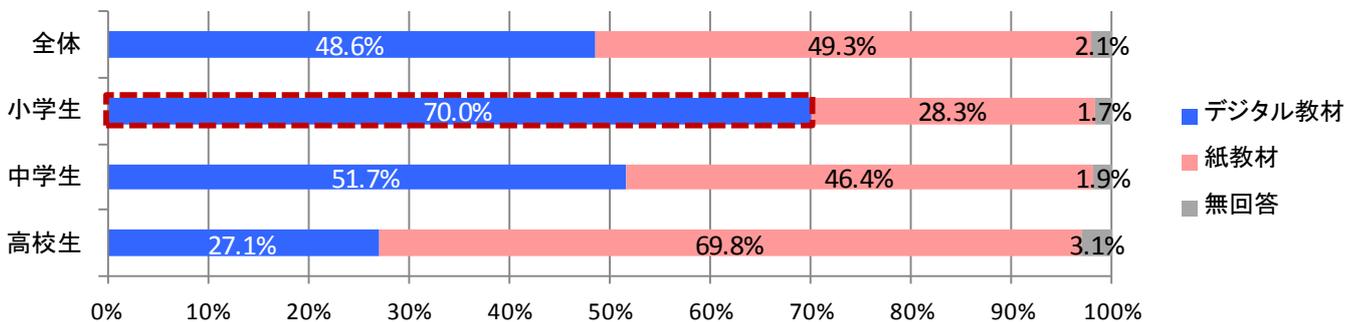


4)「紙教材」より「デジタル教材」のほうが勉強しやすい、中学生の半数、小学生は7割

「紙教材」と「デジタル教材」では、どちらが勉強しやすいと思うか質問したところ、「紙教材」(49.3%)と「デジタル教材」(48.6%)が、ほぼ半数ずつという結果となりました。

しかし、学校種別に見ると、「デジタル教材」との回答が、小学生では7割、中学生も半数以上という結果となりました。高校生では「紙教材」が約7割となっているものの、勉強においてデジタルの浸透のタイミングが早かったと思われる年齢の低い子どもほど、紙教材よりデジタル教材が選ばれる傾向にあるようです。

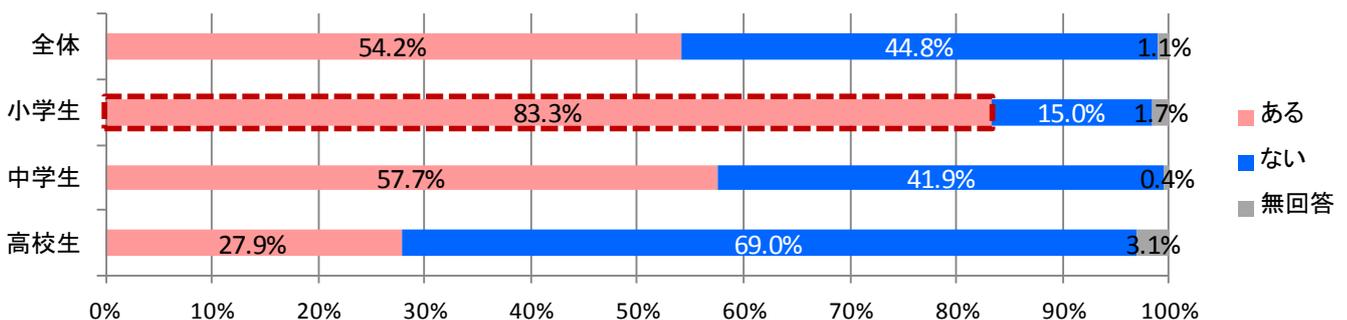
■結果:「あなた自身が勉強しやすいと思うのはどちらですか?」の回答 (二者択一)



5)親に勉強を教えてもらうことが「ある」、小学生は8割強、中学生も半数以上

親に勉強を教えてもらうことはあるか聞いたところ、「ある」が54.2%と、半数以上であることがわかりました。学校種別で見ると、親に勉強を教えてもらうことが「ある」と回答したのは、小学生が8割強、中学生が5割強、高校生が3割弱と、やはり学習内容が高度化していくとともに親に教えてもらう割合は減少しています。

■結果:「親に勉強を教えてもらうことはありますか?」の回答 (二者択一)



NEWS RELEASE

6) 小中高生が評価！親は勉強の先生として 100 点満点中「71」点

親に勉強を教えてもらうことが「ある」と回答した小中高生に対し、勉強をしてくれる先生として親を評価するとしたら、100 点満点中何点になるか聞いたところ、平均 74.7 点という結果になりました。全体で 74.7 点と 7 割を超える評価を受けており、親は勉強の先生として及第点を獲得していると言えます。また、学校種別では、小学校では 79.8 点、中学校は 72.8 点、高校は 71.9 点という結果でした。

■結果:「【5 で「ある」と回答した方対象】親を勉強を教えてくれる先生として評価するとしたら、100 点満点中何点ですか？」

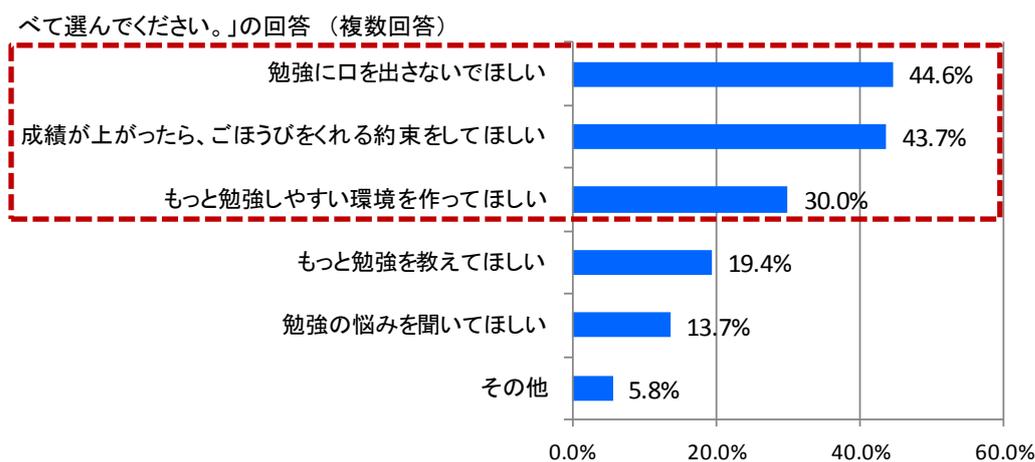
の回答（単一回答）※異常値は排除しています。

	全体	小学生	中学生	高校生
平均点	74.7	79.8	72.8	71.9

7) 勉強に関して親に最も望むコト、「口出ししないで」

勉強に関して、親にしてほしいことが何か聞いたところ、「勉強に口を出さないでほしい」が 44.6%で最も高く、次いで「成績が上がったら、ごほうびをくれる約束をしてほしい」(43.7%)、「もっと勉強しやすい環境を作ってほしい」(30.0%)という結果になりました。親としては子どもがきちんと勉強しているのか心配で、つつい口出ししてしまいたくなりがちですが、子どもは口出ししてほしくない、という気持ちが強いです。口を出さず、遠からきちんと子どもに目を配りたいものです。

■結果:「自分ももっと勉強のやる気を出すために、親に希望することはどんなことですか？ 次のうちから、あてはまるものをすべて選んでください。」の回答（複数回答）



8) 勉強を教えてほしい芸能人トップ 3 は、「櫻井翔(嵐)」・「北川景子」・「小島よしお」

小中高生に勉強を教えてほしい芸能人を聞いたところ、トップ 3 は「櫻井翔(嵐)」さん、「北川景子」さん、「小島よしお」さんという結果になりました。櫻井さんは 2013 年の同質問において男性部門トップでしたが、アイドルで報道キャスターも務める櫻井さんに教えてほしいという小中高生は依然として多いようです。加えて 2 位の「北川景子」さん、3 位の「小島よしお」さんと、トップ 3 は高学歴な方が占めました。

■結果:「勉強を教えてほしい芸能人は誰ですか？」の回答 TOP5（単一回答）

順位	回答
1	櫻井翔(嵐)
2	北川景子
3	小島よしお
4	杏
5	ミッツ・マングローブ

<調査概要>

- 1) 調査名 : 小中高生の勉強に関する意識調査
- 2) 調査方法 : クラウド型学習システム「すらら」のログイン画面にて回答を得た
- 3) 調査対象 : 小学 4 年生から高校 3 年生までの男女
- 4) 調査期間 : 2014 年 12 月 19 日～2015 年 1 月 20 日
- 5) 有効回答数: 659 名<男子: 57.8%・女子: 42.2%、小学生: 9.1%・中学生: 71.3%・高校生: 19.6%>

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】英語・数学・国語

【利用者数】約 28,000 名 (2014 年 5 月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型: カリスマ講師のレクチャー動画を視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型: 問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にはすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型: 携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の“次世代型教育システム”です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立: 2008 年 8 月 ○ 資本金: 13,795 万円 ○ 所在地: 東京都千代田区内神田
- 事業内容: クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL: <http://surala.jp/>